

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	:	F Aカチオンフィニッシュ厚付用 粉体
会社名	:	D Xマテリアル株式会社
住所（東京営業所）	:	東京都足立区六町 4-7-3
電話番号	:	03-6869-4434
FAX 番号	:	03-6809-6032

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	:	区分 1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:	区分 1
	発がん性	:	区分 1 A
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	区分 1（呼吸器）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	区分 1（呼吸器系・腎臓）

危険有害性の分類で「区分に該当しない」、「分類できない」は項目を省略する。

#### ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語	:	危険
危険有害性情報	:	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 発がんのおそれ 呼吸器の障害 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
注意書き	:	<b>【安全対策】</b> 粉じんを吸入しないこと。 取扱い後はよく手、顔を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/防塵マスクを着用すること。 <b>【応急措置】</b> 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合：水で 15~20 分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。 直ちに医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 <b>【保管】</b> 乾燥した冷暗所で、水分・湿気に注意し保管する。 <b>【廃棄】</b> 内容物や容器を、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: 超速硬セメント、珪砂、添加剤等
化学特性（化学式）	: $3\text{CaO}\cdot\text{SiO}_2$ 、 $2\text{CaO}\cdot\text{SiO}_2$ 、 $3\text{CaO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$ 、 $4\text{CaO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3\cdot\text{Fe}_2\text{O}_3$ 、 $\text{CaSO}_4\cdot 2\text{H}_2\text{O}$ 、 $\text{SiO}_2$ 、 $\text{Al}_2\text{O}_3$
化管法及び安衛法による成分表示	: 労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) ・結晶質シリカ（政令番号 第165-2号）

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。
眼に入った場合	: 速やかに清浄な水で15~20分間注意深く洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	: 無理に吐かせないで、水でよく口の中を洗浄したのち、直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合	: 気分が悪いときは、医師の診断及び手当てを受けること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 本製品は不燃物質である。 周辺の火災時は全ての消火剤の使用が可能である。
使ってはならない消火剤	: 製品に直接水を使用すると安定固化することに留意する。
火災時の特有の危険有害性	: 情報なし
特有の消火方法	: 消火活動は原則、風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び徐護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	: 製品の環境中への流出を避ける。 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。 粉じんが飛散しないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。 やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。回収物や回収した洗浄水は、「1.3. 廃棄上の注意」に従い、廃棄又は排水する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	: 屋内で取扱う場合は、換気に注意する。 みだりに粉じんが発生しないように取扱う。
接触回避	: 保管時：水、湿気、酸 使用時：酸
衛生対策	: 取扱い後はよく手、顔、口等を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
保管	
技術的対策	: 保管場所には、危険・有害物を貯蔵・取扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
混触禁止物質	: 酸性の製品、水（水との接触で、強アルカリ性（pH=10~12）を呈するため）

保管条件	: 酸性の製品、水との接触の恐れがない場所に貯蔵する。 部外者が触れない措置を講ずる。 乾燥した場所に保管する。
安全な容器包装材料	: 防湿性の容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 屋内で取扱う場合は管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。多量に取扱う場合は集じん機を設置する。
管理濃度	: 労働安全衛生法 作業環境評価基準 石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん E=3.0/(1.19Q+1) E=管理濃度 (mg/m <sup>3</sup> ) Q:遊離けい酸(結晶質シリカ)含有率(%)
許容濃度	: 日本産業衛生学会 (2022年) 吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m <sup>3</sup> 第2種粉じん 吸入性粉じん 1 mg/m <sup>3</sup> 総粉じん 4 mg/m <sup>3</sup> ACGIH TLV-TWA (2023年) 結晶質シリカ 0.025 mg/m <sup>3</sup>
保護具	
呼吸器の保護具	: 防じんマスク
手の保護具	: 保護手袋 (ビニール製・ゴム製)
眼の保護具	: 防じん眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖、長ズボンの作業服、保護帽、保護靴
衛生対策	: 保護具は保管場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼、うがい等の設備を設け、その位置を明示する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体 (粉末)
色	: 灰色
臭い	: 無臭
融点/凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 情報なし
可燃性	: 不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 該当しない
引火点	: 該当しない
自然発火点	: 該当しない
分解温度	: 情報なし
pH	: 水と接触すると pH=10~12
動粘性率	: 該当しない
溶解度	: 水と反応する
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: 該当しない
蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 情報なし
相対ガス密度	: 該当しない
粒子特性	: 情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の条件では危険な反応は起こらない。水と反応して安定固化する。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	: 保管時：水、湿気、酸 使用時：酸

混触危険物質	: 酸性の製品、水（水との接触で、強アルカリ性（pH=12~13）を呈するため。
危険有害な分解生成物	: 該当なし

## 11.有害性情報

急性毒性（経口）	: データ不足のため分類できない。
（経皮）	: データ不足のため分類できない。
（吸入：気体）	: 区分に該当しない（分類対象外）。GHS 定義による気体ではない。
（吸入：蒸気）	: データ不足のため分類できない。
（吸入：ミスト）	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性、眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 水と接すると強アルカリ（pH=10~12）となる。また本製品の粉じんは体内の水分と結合して、皮膚と眼に軽度～重度の腐食性火傷を形成することがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: 結晶質シリカは IARC でグループ 1 に分類されていることから、区分 1A に分類されている。本製品は区分 1A である結晶質シリカを 0.1%以上含有するので区分 1A に分類した。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 短期ばく露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼす区分 1 に分類されている結晶質シリカを、本製品は 10%以上含有するので区分 1（呼吸器系）に分類した。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 特定標的臓器毒性（呼吸器系、腎臓）を持つとされる区分 1 に分類されている結晶質シリカを、本製品は 10%以上含有するので区分 1（呼吸器系、腎臓）に分類した。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。

## 12.環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 配合原料物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物	: <ul style="list-style-type: none"> <li>・固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。</li> <li>・洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。</li> <li>・処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して委託し、関連法規を遵守して適切に処理する。</li> </ul>
汚染容器・包装の廃棄方法	: 容器は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い処分する。

## 14.輸送上の注意

### 国際規制

#### 陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	: 該当しない
品名（国連輸送名）	: 該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	: 該当しない
副次危険性	: 該当しない

容器等級	: 該当しない
海上輸送 (IMOの規定に従う)	
国連番号	: 該当しない
品名 (国連輸送名)	: 該当しない
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	: 該当しない
副次危険性	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質 (該当・非該当)	: 非該当
IBCコード (該当・非該当)	: 非該当
航空輸送 (ICAO/IATAの規定に従う)	
国連番号	: 該当しない
品名 (国連輸送名)	: 該当しない
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	: 該当しない
副次危険性	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
国内規制がある場合の規制情報	
陸上規制情報	: 該当しない
海上規制情報	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
航空規制情報	: 該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 粉じんの立たない方法で輸送すること。 破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実にすること。 湿気、水濡れに注意すること。

## 15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)	: 該当しない
労働安全衛生法	: 粉じん障害防止規則 名称等を表示すべき危険有害物 (法第57条、施行令第18条別表第9) 名称等を通知すべき危険有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物 (法第57条の3) ・結晶質シリカ (政令番号 第165-2号) がん原性物質 (安衛則第577条の2第3項、令和4年12月26日告示第371号、基発1226第4号) ・結晶質シリカ
じん肺法	: 法第2条、施行規則第2条別表 粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 第3、12条等

## 16.その他の情報

引用文献	:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JIS Z 7253:2019. GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS).</li> <li>・厚生労働省 (2023) 「GHS対応モデルラベル・モデル SDS 情報」、 &lt;<a href="http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx">http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx</a>&gt; (参照 2023/11/22).</li> <li>・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (2023) 「NITE-CHRIP (NITE 化学物質総合情報提供システム)」 &lt;<a href="https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop">https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop</a>&gt; (参照 2023/11/22).</li> </ul>
------	---	---

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得る為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、個々の取扱い等の実態に応じて適切な使用条件を設定くださるようお願いします。

## 安全データシート

### 17.製品及び会社情報

製品名 : F Aカチオンフィニッシュ厚付用 混和液  
会社名 : D Xマテリアル株式会社  
住所（東京営業所） : 東京都足立区六町 4-7-3  
電話番号 : 03-6869-4434  
FAX 番号 : 03-6809-6032

### 18.危険有害性の要約

#### GHS 分類

どの危険有害性にも該当しない。もしくは分類できない。

#### ラベル要素

絵表示又はシンボル : なし  
注意喚起語 : なし  
危険有害性情報 : なし  
(注意事項) : ・作業中、乾燥中、養生中とも換気をよくしてください。  
・取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにしてください。  
・容器からこぼれた場合には布等で拭き取り、密閉容器に回収してください。  
・取扱い後は、うがいを行ない、石鹼水等で手洗いを十分に行なってください。

### 19.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
一般名 : 水性エマルジョン

化学名	化学式	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法 No.)
(メタ) アクリル酸エステル共重合体	$(C_3H_3O_2-R)_m(C_4H_5O_2-R)_n$	48～52	非公開
水	H <sub>2</sub> O	48～52	—

### 20.応急措置

吸入した場合 : 蒸気、ガスなどを吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。  
皮膚に付着した場合 : 付着した衣服、靴をぬぎ、付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。  
目に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。  
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当を受ける。

### 21.火災時の措置

消火剤 : 水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤、ハロゲン化合物消火剤  
特定の消火方法 : このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。  
燃焼の際は、火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。  
延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。  
消火作業は風上から行う。  
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は適切な保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

### 22.漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業の際には保護靴、保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。

環境に対する注意事項	: 流路を毛布・土嚢等を用いてせき止め、河川、湖沼への流出を防止する。 河川、湖沼へ流入した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。
除去方法	: 多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、又少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。
二次災害の防止策	: 漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどの措置を行い、作業員以外の立ち入りを禁止する。

### 23.取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 適切な保護具（ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用する。 手洗い、洗眼、うがい等の設備を設ける。
注意事項	: 取扱いは換気の良い場所で行う。 残液や、洗浄に使用した水は下水には流さないようにし、廃棄上の注意の項を参照して適切に処理する。
安全取扱い注意事項	: 取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。
保管	
技術的対策	: 皮張り防止のため容器を密閉して保管する。
混触禁止物質	: なし
適切な保管条件	: 凍結、直射日光を避け、5℃から35℃の屋内で保管すること。
安全な容器包装材料	: 水含有製品の為、ポリ容器、内面ポリマーコーティングした容器等。

### 24.ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 室内で取扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置するほうが好ましい。
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: -
保護具	
呼吸器の保護具	: 簡易マスク
手の保護具	: 保護手袋（ビニール製・ゴム製）
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖、長ズボンの作業服、保護帽、保護靴
衛生対策	: 保護具は保管場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼、うがい等の設備を設け、その位置を明示する。

### 25.物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: 微アクリル臭
融点／凝固点	: 約0℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 約100℃
可燃性	: なし
爆発下限界及び上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: なし
自然発火点	: なし
分解温度	: データなし
pH	: 7～9（水で倍希釈）
動粘性率	: 1,350 mPa·s（動粘度：1,500mPa·s）
溶解度	: 水で無限大に希釈可能
n-オクタノール／水分分配係数（log 値）	: データなし
蒸気圧	: データなし

密度及び／又は相対密度	: 約 1.1g/cm <sup>3</sup> (23°C)
相対ガス密度	: データなし

## 26.安定性及び反応性

安定性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。
特定条件下で生じる危険な反応	: 知見なし
避けるべき条件	: 凍結させないこと。
危険有害な分解生成物	: 知見なし

## 27.有害性情報

急性毒性	: 経口 データなし
	: 経皮 データなし
	: 吸入 データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変位原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

## 28.環境影響情報

移動性	: 水域へ移動する可能性がある。
水生環境有害性 短期 (急性)	: データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

## 29.廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄処理を業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、産業廃棄物管理表 (マニフェスト) を交付して適切に処理すること。 焼却する場合は、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン類対策特別措置法及び都道府県市町村条例等に適合する焼却設備を用いて行う。
汚染容器・包装	: 廃棄処理を業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、産業廃棄物管理表 (マニフェスト) を交付して適切に処理すること。 焼却する場合は、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン類対策特別措置法及び都道府県市町村条例等に適合する焼却設備を用いて行う。

## 30.輸送上の注意

陸上輸送	: 消防法・労働安全衛生法等に基づき積載、輸送を行う。
------	-----------------------------



---

海上輸送	:	船舶安全法・港則法等に基づき積載、輸送を行う。
航空輸送	:	航空法等に基づき積載、輸送を行う。
国連分類・番号	:	該当しない
MARPOL 73/78 付属書 II 及び	:	該当しない
IBC コードによるばら積み輸送 される液体物質	:	
輸送の特定の安全対策及び条件	:	運搬に際しては、容器に漏れないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

### 31.適用法令

適用法令	:	
消防法	:	非危険物
毒物及び劇物取締法	:	該当しない
労働安全衛生法	:	該当しない
化学物質管理促進法（PRTR）	:	改正政令（令和5年4月1日施行）に該当しない

---

### 32.その他の情報

引用文献	:	JIS Z 7252:2019. GHS に基づく化学品の分類方法. JIS Z 7253:2019. GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、 作業場内の表示及び安全データシート（SDS）、 化学工業日報社「化審法化学物質」 独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質総合検索システム 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター GHS モデル SDS 情報
------	---	--

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得る為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、個々の取扱い等の実態に応じて適切な使用条件を設定くださるようお願いいたします。

---